

交通安全だより第9号

I. 9月の安全運転管理について

1. 思いやり運転を実践しよう

～高齢者との事故を防止する～

9月1日より「2021秋の交通安全キャンペーン」を実施しています。期間中は一層の安全運転をお願い致します。また、9月21日～30日は「秋の全国交通安全運動」が実施されますが、重点項目のひとつに、『子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保』が掲げられています。令和2年の歩行中および自転車乗用中の交通事故死者のうち、7割強が65歳以上の高齢者となっています。運転中に高齢者を見かけた時は、その動きに注意を払いながら、スピードを抑え、必要であれば道を譲りましょう。また、高齢者が運転する自転車とすれ違う時は、十分な側方間隔をとって慎重にすれ違うなど「思いやり運転」を徹底しましょう。さらに、夜間は高齢者を見落とす危険が高くなるので、早めのライト点灯を心がけましょう。

一方、高齢ドライバーは加齢に伴い、視力や聴力、判断力といった機能が変化します。そのため右左折時など一度に多くの情報を処理しなければならない場面では、的確な認知・判断が困難となることがあります。そこで、高齢者マークを表示する車に対しては、次のことを実践し、事故防止に努めましょう。

- ・幅寄せや割り込みをしない
- ・動静をよく確認する
- ・思いやりを持って接する



～横断歩道での事故防止～

歩行者が横断しているにもかかわらず、一時停止しない車が散見されます。このため、横断歩道上での事故も後を絶ちません。近年、お互いに手で合図を出して意思表示する「ハンドサイン運動」が各地で展開されています。事業場でも積極的に取り組み、横断歩道を安全に通過しましょう。

～イエローストップの励行を～

黄色信号の意味は、赤信号と同じく「止まれ」が原則です。しかし、運転者の中には「注意して進め」と思っている人がいるかもしれません。まずは「黄色信号で進めるのは安全に停止できないときだけ」であることをしっかり認識してイエローストップに取り組みましょう。

安全なディスタンス(距離)を確保しよう



2秒以上の車間距離を取る

車間距離を取ることは事故防止の基本です。前車が電柱などの目標物を通過してから、自車が同じ目標物を通過するまでの時間を2秒以上取りましょう。



車間距離を詰めてくる車には道を譲る

後続車がスピードを上げて車間距離を詰めてきたときは、スピードを落として道路の左に車を寄せるなどして、早めに進路を譲ってしまいましょう。



積荷バランスの悪い車には近づかない

落下物に衝突する事故が発生しています。積荷のバランスが悪い車は、積荷が落下する危険が高くなります。このような車には近づかないようにしましょう。

2. アルコールチェックの実施

飲酒運転による悲惨な事故が後を絶ちません。ひとたび従業員による飲酒運転事故が発生すると、事故を起こした本人はもちろん、事業場にも多大な影響を及ぼします。運行前・運行後のアルコールチェックの実施を検討してみましょう。毎晩飲酒しているような運転者のなかには、気付かずに酒気帯び状態でマイカー通勤を行っている人がいるかもしれせん。また、アルコールに関する正しい知識を身に付けるための教育を実施しましょう。

3. うっかり事故を防ぐ

9月、10月は「自動車点検整備推進運動」が展開されています。車の部品は、走行距離や経年により摩耗・劣化するものが多く使われており、その性能や耐久性は走行距離や時間の経過とともに低下していきます。整備不良のまま運転を続けると故障や事故に繋がり非常に危険です。点検・整備はユーザーの義務でもあるため確実に実施して下さい。

●日常点検時のチェック箇所

モーター音やアイドリング音を聞く・・・エンジン始動時のモーター音やアイドリング音で、バッテリーの不具合などの異常を知ることができます。

タイヤ/ランプ類の確認・・・駐車した際に車の周囲を回り、タイヤの摩耗やランプ類をチェックしましょう。

アクセルやブレーキの踏み応え・・・ブレーキの利きが悪い場合、追突事故に繋がる危険があります。

新車時や定期点検直後との違いを意識して踏み応えを確認しましょう。

また、車のトラブル防止や性能維持等を目的とした定期点検も義務付けられています。車種や用途によって行うべき時期・点検項目数が異なっています。日常点検と違い専門的な知識や技術が必要となるため、確実に実施しましょう。

II. 交通安全テスト

次の問は、運転者として知っておくべきこと、守らなければならないこと、安全運転の方法などについて述べています。正しいものには○を、誤りには×を付けて下さい。（正解は下にあります）

Q1 時速40キロで走行中、徐行の標識があったので、速度を半分に減速して通過した。

Q2 車両通行帯が黄色の線で区画されているところでは、その線を越えて進路を変えてはならない。

Q3 環状交差点は、車両の通行する部分が環状の交差点で、道路標識などにより車両が右回りに通行することが指定されているものである。

III. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	通勤時
どこで	T字路の交差点
何をしている時に	車で右折している際に自転車が横断して来るのが見えたため、横断歩道の手前で一時停止しようと思っていた時
どうなった	自転車が急に方向転換してこちらに向かってきたので急いでブレーキを踏んだ

テストの正解 Q1) ×→すぐに停まることができる速度で進行することが徐行です、Q2) ○、Q3) ○